

広島連帯ユニオン 2014 年度活動方針

はじめに

～国鉄闘争を軸に闘う労働組合の拠点建設が前進！

この1年間、広島連帯ユニオンは大きな飛躍を勝ちとってきました。動労千葉鉄建公団訴訟の最高裁署名や動労千葉物販を職場で取り組み、職場での闘いに必死で格闘してきました。国鉄闘争全国運動を各支部で取り組み、闘う労働組合をよみがえらせる闘いが、新しいユニオンのリーダーを生み出してきました。そして、拠点建設を前進させる大きな手応えをつかみました。

サンナビと山陽測器の解雇撤回の闘いは、安倍政権の解雇自由の攻撃との対決でした。団体交渉を地域の労働者をも含めた団結でやりきり、解雇を撤回させる決定的な勝利を勝ち取りました。そして、解雇撤回を勝ちとった仲間は、職場で元気に闘いを続けています。サンナビでは労働者代表選挙で得票を倍増させました。山陽測器では一時金の5割カットと闘っています。この闘いを契機に広島中央支部を新たに結成し、さらに広島地域支部を新体制でスタートさせました。

14春闘から5・1メーデーの過程では、拠点建設の前進に向けて挑戦を開始しました。反合理化・医療の安全闘争を闘う草津病院支部では、支部の総力決起で団交を闘い、インフルエンザによる休業補償を勝ち取りました。廣大生協労組では、ショップ労働者の食堂レジ兼務を阻止しました。労働組合の力を示し、組織拡大の展望を切り開きました。

7・1集団的自衛権行使の閣議決定＝「戦争をする国」への転換という情勢に対して、8・6ヒロシマ大行動と一体で福屋＝アクオの解雇撤回闘争を闘いぬきました。戦争を阻止する力は職場に闘う労働組合をつくる中にあることをとことんハッキリさせ、労働組合こそが社会に責任をとっていくことを鮮明にしました。

この労働組合の力と、昨年来の韓国・民主労総との国際連帯で8・6ヒロシマ大行動を大成功させ、安倍を倒そう8・17集会の成功から650人が全国から結集し大勝利した9・11JR郡山工場外注化阻止決戦、そして11・2労働者総決起集会へ向けて、安倍打倒の道を切り開きました。

NAZEN運動をはじめ、ヒロシマとフクシマとの怒りを一体に原発再稼働に反対し、全ての原発を廃止させる闘い、秘密保護法反対の闘いなど、戦争に反対する闘いにも積極的に取り組んできました。「戦争か革命か」という時代になりました。戦争に向かう以外にない一握りの資本家どもの支配を、労働組合の力と国境を越えた団結で根こそぎひっくり返す、決定的な一步を踏み出しました。この団結を職場の仲間の中にどんどん広げていきましょう。

I. とりまく情勢

7月1日、安倍政権は集団的自衛権行使の容認を閣議決定し、「戦争をする国」への転換を世界に宣言しました。

7月1日をもって情勢は一変しました。しかし、私たちにとっては全く”暗黒の時代”などではありません。国鉄分割・民営化で、闘う労働運動をつぶして改憲をやるという中曽根政権以来の資本・国家をあげた攻撃が27年経っても未だに決着をつけることができず、世界大恐慌と3・11福島原発事故、新自由主義の崩壊という事態に追いつめられているのは安倍政権です。

私たちは、新自由主義との対決をつらぬき、労働者階級が「命より金」の支配を終わらせる「戦争か、革命か」の時代をたぐりよせています。その核心に国鉄決戦を軸とする階級的労働運動の復権をめぐる激しい攻防があります。

反合理化・運転保安闘争を発展させて、外注化反対の5・2ストライキを通して、CTS(JR東日本の子会社)の労働者と団結し、組織拡大をかちとってJRの外注化を粉砕している動労千葉のたたかい。被曝労働拒否と汚染地域への住民帰還強制阻止のストライキで、地域丸ごとを獲得し、安倍政権の福島圧殺と真っ向から対決している動労水戸のたたかい。これらのたたかいが結晶した6・8国鉄集会は、国鉄労働運動の展望を大きく開き、韓国・民主労総 鉄道労組と結びつき、労働運動の国際連帯を大きく発展させました。

そして、動労千葉の最高裁10万筆署名を水路にして、全国各地、各産別で階級的労働運動の拠点建設、組合権力をとるたたかいが着実に前進しています。

さらに、国労解体と国鉄労働運動を絶滅しようとする「国労の連合化」に対して、国労郡山工場支部は、9・11集会をもって外注化阻止の歴史的なたたかいに決起を開始しました。

「動労総連合を全国に！」のたたかいは、青年労働者の求心力となりJR体制を崩壊させ、今日の情勢を決定する本質的な要因となっています。階級的労働運動と国際連帯で「安倍打倒！」を実践した本年の8・6ヒロシマ―8・9ナガサキ、そしてそれを引き継ぐ戦争・改憲阻止の8・17大集会によって、7・1閣議決定を期に、社会に満ちあふれる労働者階級の「安倍をたおせ！」の根底からの怒りを爆発させ、無数の労働者の人生をかけた決起で、戦争を阻止し、社会の変革に向かう大きな一歩を踏み出しました。

今日の大恐慌は、1929年世界大恐慌を上回る激しい深刻さで進行しています。全世界的な過剰資本・過剰生産力の状況の下で、米、欧、ロシア、中国、日本とあらゆる大国が、大恐慌から抜け出せず、体制的危機の突破を侵略戦争に求めています。

ウクライナ、中東・パレスチナ、イラク、シリアなどいたるところで資本家の利益を守るための強盗戦争が起こっています。これは大恐慌が生み出した世界戦争危機です。

なかでも、もっとも危機にあるのはアベノミクスが破産した日本です。生き残りのための活路としていた新幹線や原発輸出はことごとく失敗しています。6月24日、「”稼ぐ力”を取り戻す」として、一切の矛盾を労働者に押しつける新成長戦略を安倍政権は閣議決定しました。社会丸ごとの民営化、「残業代ゼロ」、とことん低賃金にし、10割非正規化、解雇自由、社会保障の破壊、年金・生活保護の解体等々、安倍政権は労働者への階級戦争と侵略戦争に突き進まざるを得ないところに追い込まれているのです。

原発再稼働、沖縄・辺野古での新基地建設をめぐる安倍政権への怒りが激しくわき上がっています。

戦争・改憲・原発・首切り一むき出しの新自由主義に対して、全国で無数の青年労働者、非正規労働者の決起と反乱が始まっています。ぼう大な労働者階級が歴史選択－人生選択をかけた決起と大流動を開始しています。連合、全労連をはじめとした既成の労働組合の幹部を取り込んだ労働者支配は崩壊しています。労働者の怒りの反乱は、もう抑えることはできません。

たたかう労働運動を職場からよみがえらせ、民営化、外注化反対！で労組の組織拡大と国境を越えた労働者の団結で新自由主義を打倒しよう！それは必ずできます！労働組合に結集してたたかおう！

Ⅱ. 闘いの基調

本定期大会の実践的結論は、7・1閣議決定と対決し、10・4広島国鉄闘争集会を戦争と民営化に反対するたたかう労働組合を無数につくりだしていく集会として大成功を勝ち取り、その力で11月全国労働者総決起集会への大結集を勝ち取るということです。

そこに向かって、全組合員が一つの路線で一致して、直ちに職場での闘いに入ろう。そのために以下闘いの基調を提起します。

(1) 7・1 集団的自衛権閣議決定と対決し、戦争と民営化に反対する労働運動を職場からよみがえらせよう！

集団的自衛権行使容認の7・1閣議決定は「戦争放棄の国」から「戦争をする国」への大転換です。この戦争の目的は「国民の命と生活を守る」などというものではなく、一握りの資本家階級が、世界大恐慌情勢の中、自分たちの支配体制の延命をはかることが目的です。

7・1をもって、時代は大転換しました。これから、外に向かった戦争準備と一体で、国内の支配体制を「戦時型」支配体制へと転換していく攻撃が始まります。実際にも7・1閣議決定と同時に出された安倍政権の新成長戦略・骨太方針では、解雇自由化、残業代ゼロ、岩盤規制撤廃、社会保障解体など労働者階級への凶暴な攻撃を打ち出しています。

しかし、追いつめられているのは安倍政権と資本家階級です。彼らは、世界大恐慌の深刻化と市場・資源・勢力圏を巡る大国どうしの奪い合いの激化の中、完全に敗勢に追い込まれています。その上、30年に及ぶ新自由主義に対する労働者階級の怒りが爆発し、その怒りの先頭に国鉄闘争を基軸とした階級的労働運動が立ち、前進しています。労働運動を解体し、改憲して戦争のできる体制をつくるという国鉄分割・民営化以来の敵のプランをガタガタにするところまで追い込んでいます。

したがって戦争・改憲をめぐる攻防の勝敗の鍵を握るのは、闘う労働運動を職場からつくりだしていくことです。戦時体制構築として進む労働者に対する解雇、賃下げ、民営化・外注化＝非正規化、労働監獄と過労死の強制、安全破壊と事故死の強制に対して、職場からたたかう労働組合をよみがえらせ総反撃していきましょう。その闘いと一体で、戦争に反対する全人民的な巨大な運動を

階級的労働運動が軸となつてつくりだしていきましょう。

10・4広島国鉄闘争集会から11・2全国労働者総決起集会へ、7・1閣議決定と対決する労働運動の巨大な登場を勝ち取りましょう。10・4を戦争と民営化に反対する労働組合を広島のあらゆる職場・産別で次々と産み出していくような集会として、これまでを一回り上回る結集で勝ち取ろう。あらゆる労働組合に呼びかけよう。そこから11・2全国労働者総決起集会で、さらに巨大な流れにして、戦争と民営化の安倍を打倒する巨大なうねりをつくりだしていきましょう。

(2) 国鉄1047名解雇撤回！ 民営化・外注化粉碎！ 国鉄決戦に勝利しよう！

7・1閣議決定と対決する階級的労働運動の結集軸であり、同時に解雇自由、民営化・外注化＝非正規化攻撃の最先端の攻防が国鉄決戦です。

国鉄闘争は「国鉄分割・民営化で労働運動を解体し、立派な憲法を安置する」という支配階級のプランと30年間にわたって対決してきました。国鉄闘争はいま、最大の正念場を迎えています。

JRの鉄道業務の外注化をめぐる攻防は、安倍政権の解雇自由・総非正規職化攻撃の最先端攻防です。外注化によって非正規職化をすすめる、労働条件を一気に切り下げようとしています。同時にそのことを通じて「低コストの鉄道パッケージシステム」として原発輸出・武器輸出と一体で鉄道輸出をすすめるようとしています。

しかし、鉄道業務を細切れにして外注化することは、安全を崩壊させ、事故に直結します。尼崎事故やこの間のJR北海道の事態はそれを示しています。

これに対して、動労千葉・動労総連合は「闘いなくして安全なし」「反合理化・運転保安確立」を掲げ闘い、青年労働者や下請け労働者に組織を拡大する決定的勝利を切り開いています。

この外注化絶対反対の闘いと一体で、国鉄1047名解雇撤回の闘いにおいても4・9政治和解の大反動と対決し、国鉄闘争全国運動をつくりだしてあくまでも解雇撤回で闘い抜いてきました。そしてついに地裁・高裁において国鉄の不当労働行為を認める判決を勝ち取っています。最高裁で何としても解雇撤回・JR復帰の判決を勝ち取ろう！

さらに動労水戸を先頭にした「被曝労働拒否」の闘いは、反原発闘争においても国鉄労働運動がその基軸として登場しています。

7・1閣議決定で戦争への道に踏み出した安倍政権は、国鉄決戦の爆発に恐怖し、国鉄闘争解体のための凶暴な攻撃をかけてきています。9月3日、国鉄闘争解体の階級意思をむきだしにし、東京地裁は国労組合員資格確認訴訟において「非解雇者に組合員資格なし」の超反動判決を下しました。この敵の攻撃の最悪の尖兵となっているのが国労本部です。8月国労大会において「全国単一体としての国労解散」＝連合への合流という方針を出し、さらに現場組合員を裏切って9・11郡山集会をやめよと恫喝してきたのです。

9・11郡山総合車両センター外注化絶対反対の闘いは、こうした国家権力・JR資本・体制内労組幹部の大反動を打ち破り、動労千葉・動労総連合が切り開いてきた外注化絶対反対の闘いを全国の国労、全国のJR職場に拡大し、JR体制打倒の総反乱へと発展させる決定的な闘いとして、全国

から 650 名のたたかう仲間が大結集して打ち抜かれ、JR 体制打倒の号砲を打ち鳴らしました。

いまこそ動労千葉、動労総連合、動労西日本とともに全国での動労総連合建設を共に闘おう！
解雇撤回・JR 復帰の 10 万筆署名を全力で取り組み、最高裁決戦に勝利しよう！

全国労働組合交流センターの一員として交流センター建設の先頭に立ち、4 大産別（国鉄・郵政・自治体・教労）決戦に勝利しよう！

何よりも、物販や国鉄解雇撤回 10 万筆署名は国鉄闘争支援であると同時に、職場にたたかう労働組合をつくりだす決定的な闘いです。国鉄闘争全国運動は、まさに国鉄闘争を通して全国に無数の労働組合拠点をつくりだしていく大運動として発展しています。職場拠点建設として物販と国鉄 10 万筆署名に取り組もう。

10・4 広島国鉄闘争集会を大結集で成功させ、11・2 全国労働者総決起集会を万余の結集で勝ち取り、国鉄闘争に勝利しよう！

（3）民営化・外注化絶対反対！＝非正規職撤廃！

集团的自衛権行使 7・1 閣議決定と一体で、6 月 24 日、安倍政権は新成長戦略『『日本再興戦略』改訂 2014』と骨太方針「経済財政運営と改革の基本方針 2014」を閣議決定しました。

そこで打ち出されている内容は戦争体制構築の攻撃そのものといってもいいようなすさまじい階級戦争攻撃です。

- ①「時間ではなく成果で評価される新たな労働時間制度の創設」として成果主義賃金、残業代ゼロ＝死ぬまで働かせる制度の導入
- ②「国家戦略特区を突破口とする大胆な規制・制度改革」として、解雇規制の撤廃・解雇の金銭解決＝解雇自由化、限定正社員制度＝10割非正規化の導入
- ③ 公務員改革として「5年で10%以上の定員合理化」（＝大量首切り）と「公務員給与改定」を打ち出す。公営企業・公立病院改革、公立学校の公設民営化や公共施設運営の官民連携（P P P）・民間資金活用（P F I）は「大きな市場と国際競争力強化のチャンスをもたらす」とした。社会全体の全面的民営化。
- ④「担い手を生み出す～女性の活躍促進と働き方改革」として、女性、外国人、高齢者を低賃金でいつでも解雇できる労働力として動員。子ども・子育て新システムで保育・学童の民営化・外注化＝非正規化と社会保障としての保育の解体
- ⑤医療の「成長産業化」。病院、健診機関、介護施設の民営化・外注化・非正規化。
- ⑥原発再稼働と福島切り捨て、リニア新幹線建設＝原発・鉄道・武器輸出
- ⑦「攻めの農業」としての農業への民間資本参入と農民切り捨て、「経済再生と両立する財政健全化」として社会保障制度の全面解体、消費増税と法人税減税

まさに全面的な新自由主義攻撃そのものです。

これに対して、私たちは「民営化・外注化絶対反対＝非正規職撤廃！」の路線で闘おうというこ

とです。

民営化・外注化は新自由主義の核心的攻撃です。この30年間進められてきたことは、民営化・外注化によって資本は労働現場を下請けに放り出し、自らは持ち株会社として金融自由化のもと、マネーゲームで暴利をむさぼってきました。労働者の雇用、労働、安全、社会的生産に対する一切の責任を放棄した腐敗しきった資本の姿です。全労働人口の4割、青年の半数に及ぶ非正規職の拡大、「ブラック企業」・過労死・過労自殺の蔓延、あらゆる産業に広がる安全崩壊の現実、30年間に及ぶ民営化・外注化＝非正規化攻撃によってもたらされてきました。

しかし、新自由主義の破産としての今回の世界大恐慌の爆発、3・11と福島原発事故、JR北海道の事故続発、「ブラック企業」に対する青年の怒りの爆発と「すき家スト」、韓国鉄道労組の民営化反対ストと韓国国民の圧倒的支持が示していることは、民営化・外注化＝非正規化に対する労働者の「もうだまされない」「もう我慢ならない」という怒りの決起が始まっているということです。

職場と地域全体にあふれるこの怒りを労働組合として組織しよう。低賃金と不安定雇用で怒る非正規労働者、「ブラック企業」のもと、過労死ラインで働かされている労働者、民営化・外注化攻撃で解雇・労働条件切り下げに直面している労働者、労働の現場で命の危機に直面している労働者を圧倒的に組織することです。ユニオンにおいても、この間のサンナビ・山陽測器の解雇撤回の勝利、外注化＝非正規化との闘いに押し上げた福屋・八丁堀闘争、草津病院支部や広大生協労組などの闘いなどすべての闘いはその展望を切り開いています。

7・1閣議決定と一体の新成長戦略と対決し、「民営化・外注化絶対反対！ 非正規職撤廃！」の路線で闘おう！ 10・4広島国鉄闘争集会を闘いを持ち寄り、実践を共有し、民営化・外注化に反対し、非正規職撤廃を掲げて闘う労働組合を全体で産み出していく集会として勝ち取ろう

（4）「命より金」の新自由主義と対決し、「反合理化・運転保安闘争路線」でたたかおう！

私たちの目指す階級的労働運動路線とは、「この社会は労働者が全て動かしている。労働者は社会の本当の主人公である。」ということをはっきりさせて、労働者の誇りを取り戻し、あらゆる分断を超えて労働者が階級として一つに団結し、搾取制度＝賃金奴隷制度に基づく資本家階級の支配を打ち倒して労働者が真に社会の主人公となる、そのことを労働組合運動という具体的運動を通して貫徹していく路線です。

職場での職場支配権をめぐる資本・当局との闘いの中で、分断を乗り越え、団結をつくりだし、労働者としての誇りを取り戻していくということです。

この闘い全体を貫く路線が「反合理化・運転保安闘争路線」（より一般的には「反合理化・安全闘争路線」）です。

動労千葉が船橋事故闘争や三里塚ジェット燃料輸送阻止闘争を通じて確立し、外注化阻止闘争、被曝労働拒否闘争として現在的にも闘い抜かれているこの運動路線は、すべての職場の闘いに貫かれるべき普遍的な内容をもっています。広島連帯ユニオンも草津病院支部の反合・医療安全闘争、広大生協労組の中四国事業連合方式絶対反対の闘いなどにおいて具体的闘いに踏み出し、前進を切

り開いています。

資本主義社会は働いて実際に社会を動かしている人間＝労働者がモノ扱いされ、労働者から搾り取って利潤を挙げることにしか関心が無く、社会的生産にも労働者の生活にも安全にも何一つ責任を取らない資本＝モノ・カネが社会の支配者として存在するというまったく転倒した社会です。資本はどこまでも利潤を追求する存在として、絶えず合理化・効率化という名の下に人員削減、労働強化を進めてくる。それは必然的に職場と労働の安全破壊をもたらす。労働者の命を奪い、社会的安全を崩壊させる。JR 尼崎事故・川崎駅事故、JR 北海道、原発事故、セウォル号事故すべてそうです。

これに対して労働者こそが社会と職場の真の主人公であり、安全を犠牲にし、労働者を犠牲にして成り立つ職場と社会は根本的におかしいという労働者としての実感を労働組合運動の運動路線として高めたものが「反合理化・安全闘争路線」なのです。

資本がすすめる日常的な合理化攻撃に対して、労働者の命と生存を対置し、「闘いなくして安全なし」「労働者の命こそ第一だ」を掲げて日常的に闘うことです。

この闘いは正規・非正規、直接雇用・間接雇用や評価制度等で労働者どうしが分断された現実のなかで、いかにして団結をつくりだしていくのか、また分断された現実の中で奪われた労働者としての誇りをいかにして取り戻していくのかということでもあります。

動労千葉の反合理化・運転保安闘争路線に学び、全ての職場で反合理化・安全闘争を日常的な労働運動課題として取り組み、無数の職場拠点を建設しよう！

(5) 国境を越えた労働者の団結で新自由主義を打倒しよう！ 労働者国際連帯の更なる発展を切り開こう！

今年の8・6広島闘争は国際連帯闘争において決定的勝利を切り開きました。それは6・8国鉄闘争全国運動全国集会での韓国鉄道労組の発言、8・17日比谷集会におけるソウル本部統一委員長の発言と一体で勝ち取られました。国鉄闘争全国運動を結集軸にして日本における階級的労働運動が韓国民主労総とひとつになって戦争と民営化と闘う地平を切り開きつつあります。

昨年11月の訪韓闘争を契機に、広島連帯ユニオンは国際連帯事業に全力で取り組んできました。この中で、国際連帯闘争が労働組合の団結強化・拡大にとって巨大な意義があることがはっきりしてきました。

国際連帯の目的は直接には国境を越えた労働者の団結をつくりだすことにあります。国境で分断された労働者が共通の敵である新自由主義資本と国家に対して共に闘っていく団結を生み出していく闘いです。

しかし同時に、国際連帯闘争は共に交流し、学び、刺激し合うことで、ユニオン自身の拠点建設、活動家形成、団結拡大に取ってきわめて豊かな力をもたらすものであることがはっきりしました。

実際にも大邱との交流を通して、ユニオンのあり方を自ら厳しく検証し、どこに壁があり、どこで飛躍すべきかを鮮明にするものとなっています。

国際連帯闘争のさらなる発展を切り開こう。11月訪韓闘争を青年労働者指導部建設の闘いとして取り組もう！

(6) 改憲・戦争絶対反対！ 全ての原発を廃炉に！

戦後史を画する7・1閣議決定に対して、あらゆる階層の人民の中から怒りと危機感が吹き出しています。

安倍政権のやろうとしている戦争は、1%の資本家階級の利益のために、99%の労働者人民が動員され、殺し合いをさせられるものです。そこでは、「国民の命と生活を守る」といいながら、「国」と「国民」の利益は同一視され、結局は「国のために戦え=命を差し出せ」ということが強制されていきます。しかし、安倍たちの言う「国」とは資本家階級のための国であり、労働者から日々搾り取り、奪い取って成り立っている国家です。

だからこそ、職場で資本と非和解で闘う労働組合こそが、戦争絶対反対の闘いの先頭に立つことができるし、闘う労働組合が軸に立つことによってこそ、数百万、数千万の戦争絶対反対=自国政府打倒の闘いを実現することができます。そして 国境を越えた団結で戦争を阻止することができます。

8・6ヒロシマ闘争、さらに8・9ナガサキから「改憲・戦争・原発・貧困の安倍を倒そう8・17大集会」にいたるまでの全体の大前進は、国鉄闘争の前進がその土台となっています。

全原発廃炉・福島圧殺許さない闘いも、国家・資本と非和解に闘う労働組合の存在と闘いが全体を牽引する段階に入っています。動労水戸の被曝労働拒否闘争は職場からの闘いによって、全原発廃炉の展望を指し示しました。

被爆地ヒロシマの労働組合として、改憲・戦争絶対反対！ 全原発廃炉の闘いの先頭に立とう！
11月労働者集会を戦争絶対反対・全原発廃炉・安倍打倒の闘いとして勝ち取ろう！

(7) 労働者はひとつだ！ 差別・分断と闘う地域拠点としてユニオンを建設しよう！

7月13日に開催された全国水平同盟第2回大会の地平に学ぼう。大会では「部落差別は労働者階級を分断するための道具。部落解放運動は私たち自身が労働者としての階級性を取り戻す、団結していくための闘い」として「非正規撤廃を正面に掲げ、国鉄闘争を軸に労働組合の力で社会を変えよう。そのために団結して闘おう」と階級的労働運動路線で闘う部落解放闘争の路線を鮮明にしました。

労働者階級を分断し階級として団結させないためのあらゆる差別を許さず、差別・分断と闘う地域拠点として広島連帯ユニオンを打ち立てよう。福島地区拠点化に勝利しよう。

(8) 職場拠点建設に勝利しよう！ その力で地域まるごとユニオンに組織しよう！ 青年労働者をユニオンの旗のもとに圧倒的に組織しよう！

広島連帯ユニオンは地域合同労組として、「一人でも誰でも加入できる労働組合」を合い言葉に闘っています。同時に、一人ひとりの個別の職場の闘いの総和ではなく、拠点職場における拠点労組建設を軸に闘っています。拠点において職場支配権をめぐる資本・当局との闘いを軸に闘うことによって、地域全体の労働者を組織化する展望も開くことができます。

草津病院支部、広大生協労組をユニオン2大拠点として闘おう！

さらに、青年労働者を圧倒的にユニオンに組織化しよう！ 半数が非正規、低賃金、「ブラック企業」の過酷な労働と、パワハラ・退職強要に多くの青年が直面しています。戦争と原発、貧困に怒りをたぎらせる青年労働者をユニオンの仲間として組織しよう。

青年労働者を労働組合の活動家として育成しよう。広島労組交流センターひろしま労働学校に参加しよう。

10・4広島国鉄集会を拠点建設・青年活動家建設の闘いとして成功させよう！

Ⅲ. 闘いの方針

1、7・1情勢の下で、外注化阻止・被爆労働拒否の国鉄闘争に大勝利しよう。

(1) 10・4広島国鉄集会を成功させよう。職場労働者の結集をかちとろう。この集会を組織する中で、職場で動労千葉（鉄建公団訴訟の最高裁への「解雇撤回・JR復帰」判決を要望する）の10万筆署名を集め、国鉄闘争全国運動を職場・地域に拡大しよう。

(2) 11・2全国労働者集会へ職場労働者とともに参加しよう。外注化阻止の闘い・被爆労働拒否の闘いを動労千葉・動労水戸とともに闘おう。動労西日本（動労総連合）の組織拡大闘争とともに闘おう。国労郡山工場支部の外注化阻止決戦を勝利させよう。JR体制打倒の国鉄闘争を闘おう。

(3) 動労千葉物販を水路に、職場で「動労千葉を支援する会」を作ろう。闘う労働組合をよみがえらせよう。

2、新自由主義と対決し、民営化・外注化阻止、非正規職撤廃闘争を闘おう。

(1) 福屋一アクオ西日本の解雇撤回闘争をユニオンの全力で闘おう。

(2) ユニオン組合員の各職場で、外注化阻止の闘いを結合して非正規職撤廃闘争を闘おう。

(3) 新自由主義の下で、民営化・外注化が進行する四大産別の労働者と団結し、労組交流センター運動を前進させよう。

(4) 労働者を使いつぶす「ブラック企業」許すな！青年労働者は団結して生き抜こう！

(5) 合同一般労組全国協の仲間と団結し、鈴コン闘争、郵政非正規ユニオンはじめ全国の闘いと連帯して闘おう。

3、全職場で「反合理化・運転保安闘争路線」で組織拡大をかちとろう！

(1) 草津病院支部で反合理化・安全闘争を押し進めよう。病院資本による安全破壊と要員不足の過重労働を許さず、団結と組織の拡大をかちとろう。

(2) 広大生協労組の中四国事業連合方式絶対反対の闘いをさらに推し進めよう。

(3) ユニオンのすべての支部・職場で、「反合理化・運転保安闘争路線」の観点から闘いを組織しよう。

4、新自由主義攻撃と対決する闘う労働組合の国際連帯を発展させよう

(1) 本年8・6の日韓連帯闘争で切り開いた韓国・民主労総とりわけ大邱との連帯をさらに強化発展させよう。

(2) ユニオン国際部を先頭に国際連帯闘争の発展をかちとろう。

(3) 11月訪韓闘争に青年労働者を送りだそう。

5、改憲阻止、反原発・被曝労働拒否の闘い

(1) 8・6ヒロシマ大行動を先頭に立って闘おう

(2) 7・1「集団的自衛権」行使容認の閣議決定を絶対に許さない。「改憲・戦争・原発・貧困許さない大行動（略称『許すな改憲大行動』）」に取り組もう。

(3) すべての原発の再稼働に絶対反対。川内原発再稼働絶対反対、伊方原発の再稼働を阻止しよう。被ばく労働を絶対許さない。すべての原発今すぐなくそう全国会議(NAZEN)ヒロシマの先頭で闘おう。ヒロシマの「金曜行動(中国電力本社前)」に取り組もう。

(4) 被災地の闘いに連帯し、ふくしま共同診療所の運動を支援しよう。3月 福島現地闘争へ結集しよう。

(5) 沖縄の辺野古新基地建設絶対反対の闘い、三里塚軍事空港反対の闘いなどの全国の基地撤去の闘い、反戦闘争と連帯して闘います。

(6) 無実の星野文昭さんを労働者の団結の力で奪還しよう。広島星野文昭さんを救う会に参加しよう。再審無罪・星野奪還をかちとるために全証拠開示署名運動を職場・地域で取り組もう。

(7) 裁判員制度を廃止しよう。

6、差別・分断と闘う地域拠点としてユニオンを建設しよう

(1) 全国水平同盟と連帯して階級的労働運動路線で部落解放闘争を闘おう。

(2) 広島・福島地区の青年労働者を組織し、全国水平同盟の支部建設をめざそう。

(3) 差別・分断と闘う地域拠点として、福島地区拠点化を実現しよう。部落解放広島共闘会議に参加してその先頭で闘います。

(4) 橋下の民営化攻撃・更地化攻撃と闘う八尾北・西郡闘争と連帯しよう。

7、ユニオンの総力で職場拠点闘争に勝利しよう

(1) ①草津病院支部、②広大生協労組をユニオン2大拠点として闘おう。

(2) 資本・権力の一体となった組合破壊を許さず闘おう。草津病院支部の中山崇志支部委員長の解雇撤回をかちとろう。

(3) 14 春闘で解雇撤回をかちとったサンナビ(地域支部)、山陽測器(中央支部)、推進機構支部で職場闘争を前進させよう。

(4) 高陽第一診療所労働組合の拠点化闘争をともに闘おう。反動的経営幹部の組合破壊を許すな。外注化攻撃絶対反対！「サービス付き高齢者住宅」建設反対！

(5) 安倍の戦争と原発、貧困に怒る青年労働者をユニオンへ圧倒的に結集させよう！

8、理論武装を強化しよう！

(1) 広島県労組交流センターの「ひろしま労働学校（第Ⅶ期）」に参加します。

(2) 青年部組合員を「ユニオン奨学生」として学習闘争を支援します。

9、「15 春闘」「15 メーカー」について

今秋の闘いの勝利に全力を上げ、その勝利の上に「15 春闘」「15 メーカー」を闘おう。ユニオン・支部・組合員への不当解雇・組織破壊攻撃には組織防衛ストライキを！職場で反合理化、安全闘争を闘い、民営化・外注化阻止、非正規職化絶対反対のストライキで闘おう。

10、組織強化・拡大の闘い

(1) 機関紙について

機関紙『連帯』を定期発行します。広く投稿をよびかけます。職場での拡大に取り組もう。

(2) 財政について

①組合費は基本財政です。組合員の皆さんは、毎月所定の組合費を期日までに納入をお願いします。

②激動期の闘いを支えるため、本年度も、予算に「国際連帯費」を計上します。また、組織拡大一組合員 100 名建設のための「組織強化費」を計上します。

(3) 諸会議・交流会について

本部執行委員会は月 1 回定期開催します。各支部は、支部会議を開催し団結と闘争を強化します。組合員交流集会を随時開催します。

(4) 宣伝活動について

加入リーフレット・ホームページ・ブログの更新の回数を多くして、さらに活用を図ります。毎月、街頭宣伝を行います。

(5) レクリエーション活動

組合員・家族、闘う仲間の団結強化を目的として開催します。